



《学校教育目標》

自ら学び 心豊かで

心身ともにたくましい生徒の育成

金中五開 「勉学 錬磨 自主 協力 挑戦」

≪ 5月1日開校記念日特別号 ≫

未来に向かって羽ばたけ!金中生!

5月1日(水)は金浦中学校の77回目の「開校記念日」です。金浦中の歴史を振り返り、生徒自らが新たな歴史を創り、その経験が自分の未来へつながることを願い、この特別号を発行します。

昭和22年(1947年)金浦中学校創立

昭和22年、学制改革により全国一斉に中学校が創設されました。金浦中学校もその4月1日に創設、5月1日に「開校」しています。金浦小学校、大竹小学校の児童の進学先となりました。

校舎は、湾頭にあった金浦小学校の校舎を間借りしてのスタートだったようです。規模は1年3学級、2年2学級、3年1学級、全校生徒284名でした。開校当初は、教科書も満足になく、教室には黒板が一枚だけで、机・椅子もなく毎日板敷きの床に座り教科書を膝上に乗せての授業だったと記録にあります。

昭和26年に金浦小学校湾頭校舎の隣に木造校舎が建ちましたが、台風などの自然災害に何度も見舞われました。

昭和54年に現校舎となり、平成13年に大改修が施され現在に至ります。

10周年記念誌に「現職員の声」で開校当時の思い出を執筆された先生がいらっしゃいましたので一部抜粋して紹介します。

よ十周年記念誌(昭和三十二年発行)より
漸く五月一日に入学式を挙げることでできた当時は、教育備品は勿論のこと教科書さえ満足に配給されず、教師、生徒共に苦心した。それに未だ敗戦の痛手が深刻な時で食糧不足が甚しく、混食や粉食が唯一の御馳走であったので、早速五月二十八日、全校山菜取りをして各自に持参させたところ、各父兄から大歓迎を受けた。秋の遠足も、遠足本来の目的より、そちらの方の目標が大きかった。本校は体育面にはすばらしい素質があるので、二十三年の十月には、女子四百米継走で軽く郡優勝してしまった。男子は翌二十四年九月に八百米継走で郡優勝している。いつの時代も卒業学年の宿泊つきの修学旅行は楽しい行事の一つであるが次のようになっている。

第一期―新潟一泊 第二期―弘前一泊
第三期―秋田一泊 第四期―新潟一泊
第五期から東京方面に

金浦中学校 生徒数の推移

